

2016年の白化状況について

2017.2.19

環境省那覇自然保護官事務所
石垣自然保護官事務所 伊藤珠実

白化調査 実施期間と調査場所

1回目

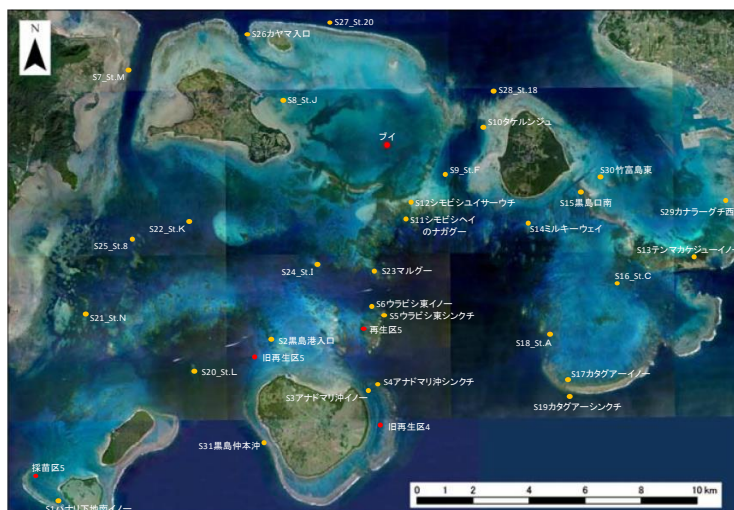
2016年7月26日～8月17日

2回目

2016年9月29日～10月4日

3回目

2016年11月28日～12月21日



石西礁湖サンゴ群集モニタリング地点の35地点で実施

調査方法

＜スポットチェック法＞

(環境省自然環境局生物多様性センター 2013)

調査員: 2名

調査範囲: 概ね50 m × 50 m

(調査員間で引き継がれてきた範囲)

調査時間: 15分間(スノーケリング)

水深帯: 0.5 ~ 13m(主に2 ~ 6m)

観察項目:

サンゴ類(生育型、被度、白化、卓ミド長径)

その他の生物(サンゴ食巻貝、オニヒトデ)

位置、地形、底質、水深、水温、天候



白化階級とサンゴの状態



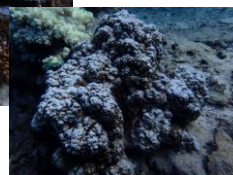
健全

ランクⅠ
生サンゴ



色が薄い

ランクⅡ
軽度の白化



一部白化



一部死亡



ランクⅢ
完全白化

完全白化



ランクⅣ
白化による死亡



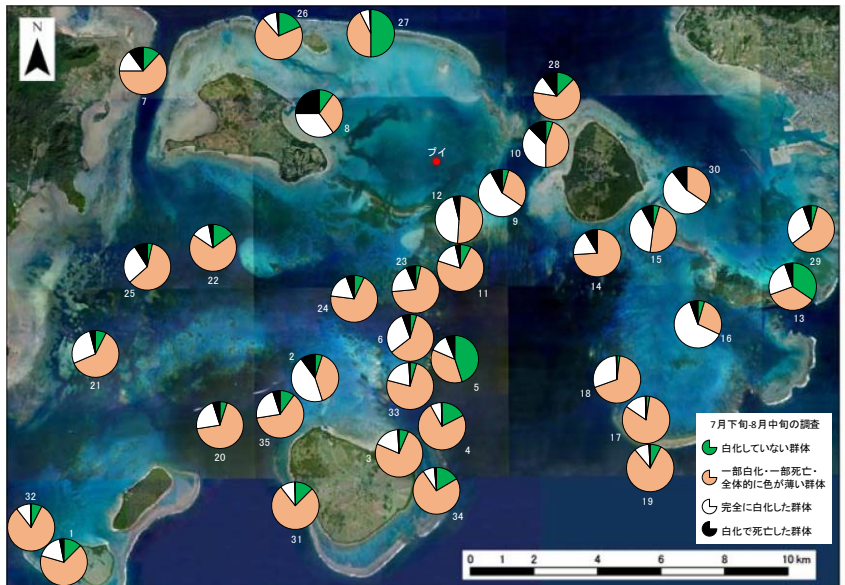
調査結果

7月下～8月中旬

被度: 29%

白化率: 89.6%

死亡率: 5.4%



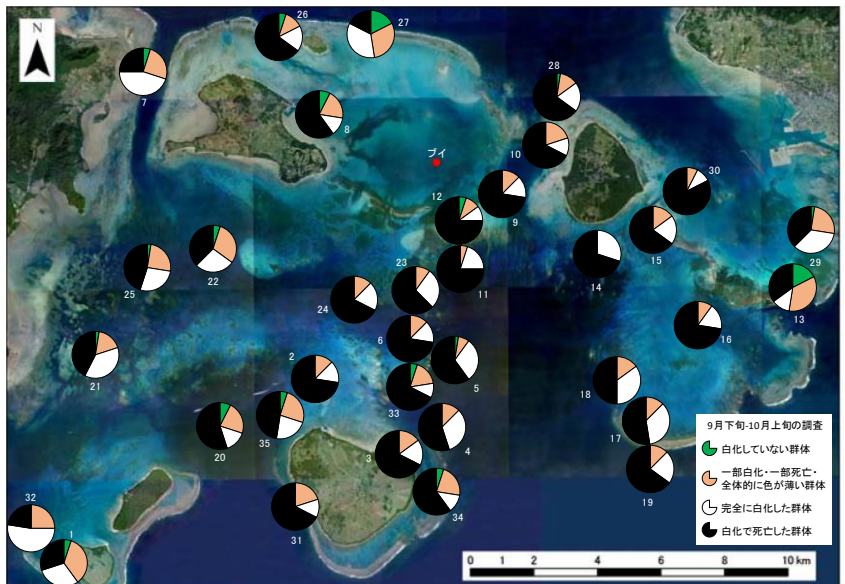
調査結果

9月下～10月上旬

被度: 20%

白化率: 97.1%

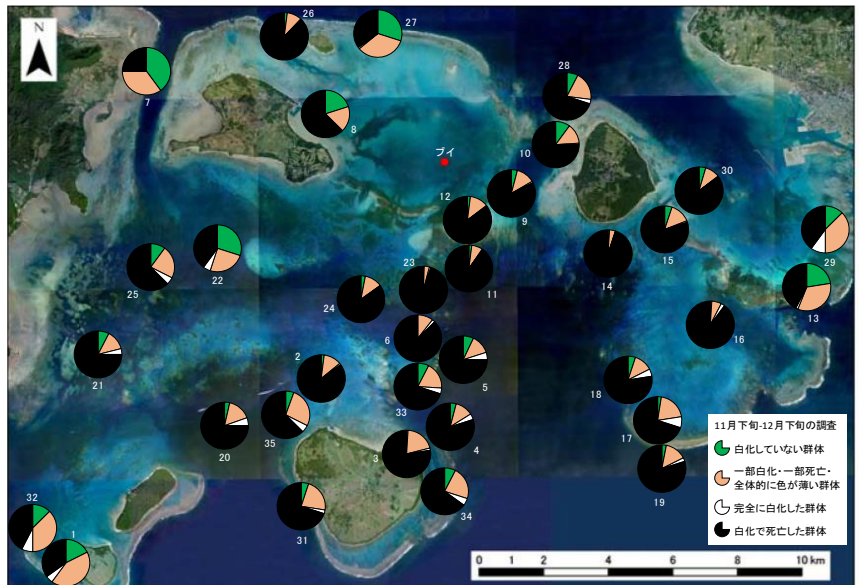
死亡率: 56.7%



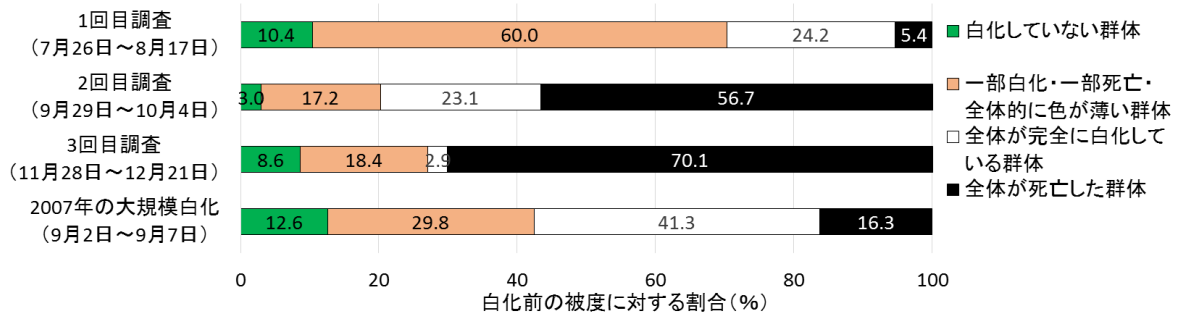
調査結果

11月下旬～12月下旬

被度: 12%
 白化率: 91.4%
 死亡率: 70.1%

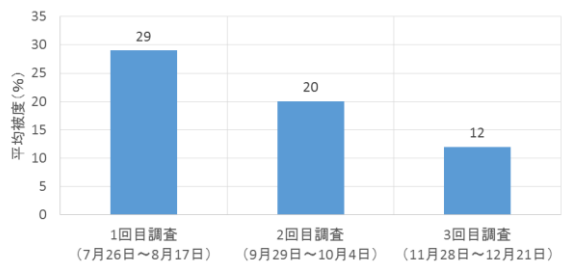


過去の大規模白化(文献値)との比較



1998年の大規模白化の情報
 死亡率: ミドリイシの40%
 (野島・岡本 2008)

2007年の大規模白化の情報
 被度: 10%前後
 (野島・岡本 2008)



白化と水温の傾向

30°C以上の水温への 暴露時間

